




マンドリン諏訪演奏会



山梨大学マンドリンクラブ

67' 11月 5日 (日) P.M 1:00 開場 北沢会館
P.M 1:30 開演

後援 南信日々新聞 信越放送KK



==== 諏訪演奏会に寄せて ====

東京比留間マンドリン音楽学院

比留間 きぬ子

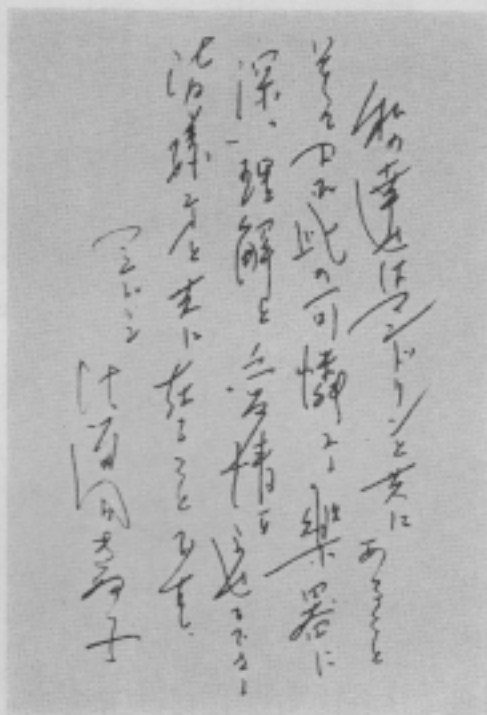
山梨大学学生部長

古屋 直 臣

暑さの厳しかった今年の夏も過ぎて、爽りの多い秋を迎えました。窓外の黄ばんだ葉からは、すだく虫の音のコーラスが響いて来ます。こうした自然の情景とも調和して、山梨大学のマンドリンクラブは、清涼なこの諏訪湖畔の北沢会館で特別演奏会を催すこととなりました。

マンドリンクラブは創立7周年を迎え、先輩の築き上げた輝かしい後をうけた多数の部員によって、今日ここに日頃の苦練の成果を発表してご来場下さった同好の諸兄弟の前に、共感の錦糸を奏でる機会をもつこととなりました。

私は、山梨大学を代表して、平素暖かいご指導ご協力を仰いでいる学外の皆様に対し、御礼申し上げますとともに、この演奏会を通じて梨大マンドリンクラブ、さらには、山梨大学をより一層ご理解いただき、今後も引き続きご支援を御願い申上げる次第であります。



御 挨拶

山梨大学マンドリンクラブ部長 沢 田 稔

秋もいよいよ深まり、やがて訪れる冬を待つ諏訪の盆地には、何か独特な雰囲気を感じているように思われます。

私達にとって山梨県を離れた場所で演奏会を催すことは以前からの念願でしたが、第5回定期演奏会を記念して、この地でこのような機会を得ることができましたことを部員一同心から喜んでおります。

きょう日曜日の午後の一時を皆様と共に楽しく過ごせますよう一生懸命演奏します。でもまだまだ未熟でお聞き苦しいことと存じますが、私達の若い情熱と意気とおくみ取り下されば幸いです。

演奏会についてはクラブの発展のため今後ともよろしく御批判、御支援をお願いします。

最後に、この演奏会を開催するにあたり、発足当時より献身的に後指導をして下さる飯島国男先生、比留間きぬ子先生、佐藤克己先生、桐原ふじ子先生、秋山亮先生をはじめ、先輩の方々、学校当局、諏訪地方の各音楽団体、各関係会社の御支援、御協力に対し厚くお礼申し上げます。

▶……紹介……◀

飯島国男先生

マンドリンを比留間きぬ子、ヴァイオリンを福井直弘、チェロを中島方、指揮を抑不可止に師事され、JOKG管弦楽団の常任指揮者を経て、昭和30年NHKオーディションに合格、現在は比留間マンドリンアンサンブルの客員としてラジオ、テレビ、レコード、映画音楽などに活躍されています。

比留間きぬ子先生

我が国マンドリン界の最高権威者で、東京に「比留間マンドリン音楽学院」を開いておられるかたわら、ラジオ、テレビ、レコード、映画音楽など非常に多方面に活躍中。先生はマンドリンという可憐な楽器に深い理解と愛情を寄せられるように常に私達に教示されます。

秋山アキラ先生

早稲田大学を卒業後、林リリ子先生にフルートを師事され、飯島先生、佐藤先生と共に、JOKG管弦楽団に入団、その一員として、御活躍されました。今回は私たちマンドリンクラブのためにラテンアンサンブルでフルートを演奏していただきます。

桐原ふじ子先生

身延高校在学中、NHK甲府放送合唱団に入団され、その後声楽を田中正氏、ピアノをふるさわなつき氏、シャンソン・タンゴを一瀬純一氏、佐藤克己氏、松田トシ氏に師事し、昭和36年NHKオーディションに合格されました。本年6月10日にもリサイタルを開かれています。

佐藤克己先生

梨大の前身である工専の機械科在学中、音楽部部長、卒業後JOKGの室内管弦楽に関係し、現在中学校の教諭をしておられるかたわら、飯島先生らと共に県社会福祉教育に尽くされ、また主に器楽合奏曲の作曲、編曲で御活躍中です。今回は草原、二つのギター、恋心などを編曲して下さいました。

音楽の花開く秋 聞きましょう ミュージック!!

~~~~世界のアーティストがあなたを待っています~~~~

4トラック  
8トラック

ステレオテープも大量陳列

 ヤマサキ

諏訪市本町1丁目 TEL. 25200(代)

..... 演奏曲目 .....

■ 第一部 マンドリン オリジナル

指揮 飯島国男

OUVERTURE IN A-DUR

ローマトリノ

小交響曲 マンドリンの群れ

第1楽章 プレグロ 第2楽章 アダージョ 第3楽章 プレグロ

■ 第二部 ギター合奏及びマンドリンアンサンブル

1 ギター合奏

おてもやん 春雨 深川

2 ラテン アンサンブル

指揮 春日正男  
編曲 佐藤克己

マイショール キエレメムーチョ マラゲーニア

3 桐原ふじ子と四年生による アンサンブル

指揮 浅川武彦  
編曲 佐藤克己

夏の日のお恋 フ・クンパルシータ

バリオのお嬢さん 恋心 ソレン ツァーフ

■ 第三部 マンドリン全合奏

指揮 春日正男  
飯島国男

マンドリニストの行進 ..... E. Mezzacapo

フ ラ ン ゲ サ ..... Mario Costa

英 雄 ..... C. Munier

草 原 ..... ハンガリー民謡

二つのギター ..... ロシア民謡

ド ミ ノ ..... シャンソン

ミ レ ー ナ ..... Maciocchi

## ..... 主な曲目の解説 .....

- **OUVERTURE IN A-DUR** この曲は序曲イ長調という意味ですが、歌劇の序曲とは異なり、独立した演奏会用の曲として作曲されています。この曲はあまり演奏されることのない曲ですが、マンドリンの奏でる旋律が、非常に美しい優雅な感じを描きだしています。
- **マンドリンの群れ** 19世紀末期におけるイタリアの作曲家であり、指揮者であるブロッコは、プレクトラム音楽のために多くのすぐれた作品を残していますが、なかでもこの曲は最も有名な作品です。1902年「ルイ・マンドリーノ」の作曲コンクールで金杯を得、自己の指揮するジェノアの合奏団に贈ったもので3楽章にわかれ、プレクトラム合奏にシンフォニックな味を出そうと努力がはらわれています。彼は1903年に永眠しましたが、この作品は今なお、マンドリニストの間で愛され演奏されておりま。
- **マイ・ショール** ルンバの王として有名なクガートの作曲で、エキゾティシズムあふれる作品です。原題は「オンボ」ですが「ロマンスを運ぶ私のショールをお買いなさい」というショール売りの歌になって「マイ・ショール」の題でヒットしました。
- **マラゲーニャ** 古くからクラシック音楽ファンにも親しまれていた名曲です。  
キューバが生んだ世界的な作曲家兼ピアニストのエルネスト・レクォーナ・カサードの作曲で1928年に作られたピアノ組曲「アングルシア」の中の1曲です。スペイン南部のアングルシア地方のイメージを描いたものです。
- **マンドリニストの行進曲** この曲はマドモアゼル・ポルカと共に、現在女性マンドリニストとして活躍しておられる比留間きぬ子先生の亡父、比留間賢八氏（1867—1936）が、明治32年ドイツ・イタリアに留学、イタリアでマンドリンとギターを学んで同年帰国せられた際、我が国に紹介されました。現在我がクラブでは、テーマ・ミュージックとして演奏しています。
- **草 原** 国の中央をドナウ河やタイス河が貫く中部ヨーロッパの平原の国・ハンガリーの民謡です。五世紀頃から、東西の両方から絶えず侵略を受けてきたこの国の哀れな歴史を背景にしたのでしょうか。哀愁を帯びた美しい曲です。
- **ド ミ ノ** ルイ・フェアリ作曲のワルツ調のジャンソンです。つれない人に首ったけになっている気持が、やるせなく歌われます。数ヶ月間この楽譜は出版会社の机の引き出しにしまい忘れられていましたが、1950年にアンドレ・クワポーが歌ってヒットしました。
- **ミ レ ー ナ** これは美しいジプシー娘、ミレーナの一生を描いた曲です。数多い彼の作品中最も有名なもので、プレクトラムファンにはなじみ深いものです。なおこの曲とドミノは私たちが最初の演奏会で発表した思い出の曲です。

<本格的な味と香りの>

純 喫 茶      **エ ッ セ ン**

上 諏 訪 駅 前      TEL ② 0 2 5 4

# クラブ員紹介

常任指揮者 飯島 国男 部長 沢田 稔  
 正指揮者 春日 正男 副部長 小林 智次  
 副指揮者 小松 仁 仲 沢 八重子  
 Concert Master 小林 幹夫

## 1st Mandolin

◎小林 幹夫 (長野・工3)  
 小 荒川 順子 (山梨・教4)  
 風 岡 朋子 (山梨・教4)  
 小 林 斌 朋 (山梨・工4)  
 鷹 野 美 恵子 (山梨・教4)  
 野 沢 曉 幸 (長野・工4)  
 村 松 美代子 (山梨・教4)  
 望 月 洋子 (山梨・教4)  
 山 口 喜代子 (山梨・教4)  
 吉 沢 修 平 (長野・工4)  
 石 坂 郁 子 (山梨・教3)  
 大 村 愛 理 (山梨・教3)  
 上 野 崎 法子 (山梨・教2)  
 野 野 ち え (山梨・教2)  
 望 月 育子 (山梨・教2)  
 河 北 篤 巳 (愛知・工2)  
 野 田 瀬 裕子 (山梨・教2)  
 阿 部 信 彦 (岡山・工1)  
 大 野 洋 一 (香川・工1)  
 川 村 恭 明 (静岡・工1)  
 小 原 都 (福井・教1)  
 小 林 恭 子 (山梨・教1)  
 小 佐 藤 子 (山梨・教1)  
 遠 山 智 子 (山梨・教1)  
 中 村 四 郎 (静岡・工1)  
 三井田 ひろみ (山梨・教1)

## 2nd Mandolin

◎坂 井 幹 弘 (長野・工3)  
 尾 沢 許 子 (山梨・教4)  
 塚 原 純 子 (山梨・教4)  
 中 島 勇 子 (山梨・教4)  
 越 井 裕 子 (山梨・教4)  
 松 下 泰 美 (山梨・教4)  
 小 田 切 昌 子 (山梨・教3)  
 高 添 照 子 (山梨・教3)  
 藤 田 美 保 (山梨・教3)  
 名 取 油 子 (山梨・教3)  
 石 川 恵 (山梨・教2)  
 樋 口 和 子 (山梨・教2)  
 山 本 盛 之 (静岡・工2)  
 山 田 愛 子 (山梨・教2)  
 川 口 礼 子 (山梨・教1)  
 河 野 直 文 (山梨・工1)  
 小 林 実 (岡山・工1)  
 佐々木 正 子 (山梨・教1)

田 中 秀 子 (山梨・教1)  
 土 塔 豊 (大阪・工1)  
 中 嶋 京 子 (鳥取・教1)  
 長谷川 久 (静岡・工1)

## Mandola

◎望 月 剛 男 (千葉・工3)  
 浅 川 浩 (山梨・工4)  
 熊 谷 巴 (山梨・教4)  
 藤 沢 清 乃 (山梨・教4)  
 山 口 幸 子 (山梨・教4)  
 田 島 潤 (静岡・工3)  
 小 木 松 仁 (長野・工2)  
 小 木 幸 彦 (山梨・工2)  
 平 馬 ひろみ (山梨・教2)  
 小 林 金 好 (長野・工1)  
 高 橋 君 夫 (香川・工1)

## Mando cello

相 吉 丈 夫 (山梨・工3)

## Guitar

◎植 松 幹 夫 (山梨・工3)  
 浅 川 武 彦 (山梨・工4)  
 秋 山 悦 子 (山梨・教4)  
 鈴 木 通 夫 (埼玉・工4)  
 田 中 佑 子 (山梨・教4)  
 平 川 彰 子 (山梨・教4)  
 堀 尾 忠 親 (島根・工4)  
 渡 辺 修 (山梨・工4)  
 大 原 勉 (山梨・工3)  
 小 林 智 次 (山梨・工3)  
 佐 藤 幸 子 (山梨・教3)  
 沢 田 稔 (長野・工3)  
 嶋 田 弥 寿子 (山梨・教3)  
 仲 沢 八重子 (山梨・教3)  
 三 井 義 (山梨・工3)  
 村 松 真 喜子 (山梨・教3)  
 横 井 嘉 美子 (山梨・教3)  
 簡 本 智 子 (山梨・教3)  
 市 川 今朝 剛 (山梨・教2)  
 上 平 陽 子 (山梨・教2)  
 鈴 木 恵 美子 (山梨・教2)  
 武 井 千代 美 (山梨・教2)  
 丹 沢 房 枝 (山梨・教2)

田 中 好 信 (兵庫・工2)  
 前 田 勝 美 (静岡・工2)  
 古 屋 君 夫 (山梨・教2)  
 山 崎 朝 男 (山梨・工2)  
 山 田 隆 秀 (山梨・工2)  
 今 井 良 子 (山梨・教1)  
 植 松 幸 江 (山梨・教1)  
 氏 原 秀 記 (山梨・工1)  
 浦 谷 秀 野 (福井・教1)  
 岡 本 邦 男 (富山・工1)  
 川 端 一 男 (東京・工1)  
 清 塚 茂 代 (新潟・教1)  
 粕 田 静 枝 (山梨・教1)  
 窪 田 愛 子 (山梨・教1)  
 佐 藤 学 (静岡・工1)  
 清水 春 美 (山梨・教1)  
 末 吉 克 己 (岡山・工1)  
 原 喜 美子 (山梨・教1)  
 丸 川 登 洋 (岡山・工1)  
 宮 沢 お わ (長野・教1)  
 村 上 たか子 (山梨・教1)  
 望 月 恵 (山梨・教1)  
 山 田 真 知子 (山梨・教1)  
 渡 辺 泰 寿 (静岡・工1)

## Bass

◎渡 辺 三 (岡山・工3)  
 西 川 公 男 (滋賀・工1)

## Flute

遠 藤 芳 紀 (山梨・工2)

## Clarinet

田 島 潤 (静岡・工3)

以上 110名

◎印はパートリーダー

(賛助出演)

## Flute

秋 山 アキフ

— あ ゆ み —

- 第一回 演奏会 S. 38. 11. 16 (於・学内)
- ・ ド ミ ノ
  - ・ 小 兵 士 の 行 進
  - ・ フォスター歌曲集
  - ・ ボルガマーチ
  - ・ 郷 愁
- 第二回 定期演奏会 S. 39. 11. 8 (於・山梨県民会館)
- ・ OUVERTURE IN D-DUR ..... Konrad Wolki
  - ・ LA VALLEE MAUDITE ..... Menichetti
  - ・ MILENA ..... Maciochi
  - ・ 山 峡 ..... 川 崎 貞 利
- 第三回 定期演奏会 S. 40. 11. 6 (於・山梨県民会館)
- ・ オラッチオとクリラッチオ兄弟 ..... D. Cimarosa
  - ・ ト調のシンフォニー ..... G. Domenico
  - ・ レ ナ ー タ ..... Lavitorano
  - ・ 小交響曲 マンドリンの群れ ..... C. A. Bracco
- 第四回 定期演奏会 S. 41. 11. 12 (於・山梨県民会館)
- ・ バグダッドの大守 ..... F. A. Boieldieu
  - ・ 組曲 山の印象 ..... 鈴木 静 一
  - ・ ハンガリア舞曲 第5番・第6番 ..... Joh. Brahms

甲子家  
寿司  
天婦羅

諏訪市大手町1丁目 電話 ②-2045

洋画材料  
日本画材料

各種額縁製作

河 西 画 廊

② 0 1 8 7

諏 訪 仲 町

株 式 会 社 笠 原 書 店

TEL ② 0 5 0 9

\*\*\*\*\* 信濃の国 \*\*\*\*\*

1. 信濃の国は十州に 境つらなる国にして

そびゆる山はいや高く 流るる川はいや速し  
松本 伊那 佐久 善光寺 四つの平は肥沃の地  
海こそなけれ物さわに よろず足らはぬ事ぞなき

2. 四方にそびゆる山々は 御岳 乗鞍 駒ヶ岳  
浅間はことに活火山 いずれも国の鎮めなり  
流れよどまず行く水は 北に犀川 千曲川  
南に木曾川 天竜川 これまた国の固めなり

3. 木曾の谷には真木しげり 諏訪の湖には魚多し

民の穰ぎもゆたかにて 五穀のみのらぬ里やある  
しかのみならず桑とりて 臺がひの道もうち開け  
細きよすがも軽からぬ 国の命をつなくなり

4. たずねまほしき園原や 旅の宿りの寝覚の床  
木曾の棧 かけし世も 心して行け 久米路橋  
来る人多き筑摩の湯 月の名に立つ純捨山  
昔き名所とみやびをが 詩歌をよみてそ伝ふなる

江戸前

寿司金分店

並木通り

電話 ① 0839・② 6430